



ご縁をつなぐ
神仏の通ひ路

人間文化の原風景

松江城西側界隈

自然や景観、歴史・文化を活かした地域づくり

中海・宍道湖・大山圏域では、平成18年度以来、国土交通省が推進する「日本風景街道」に取り組んできました。

平成19年9月に“神仏の通ひ路ルート”と“湖水ルート”が日本風景街道「人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～」として認定されています。

日本風景街道の取り組みを推進するために組織されたNPOや地域づくり団体、企業、行政等からなるレーク街道推進会議では、レーク街道カフェをはじめとした様々な事業に取り組んできました。

今後も、本圏域が持つ景観、歴史、文化といったすばらしい資源を継承・発信するとともに、観光振興や地域の活性化を目指した取り組みを推進していきます。



大山道路



中海



斐伊川土手



宍道湖大橋

神仏の通ひ路ルート

「日本の心のふるさと」ともいえる出雲地方の、20の神社仏閣が世界平和を願って提唱された「出雲国神仏霊場」を巡るルートです。「ご縁の道」「心の旅」のこの道は、車はもちろん、時間をかけて徒歩で巡礼するにも適した、新しい自分発見の道として注目されています。

湖水ルート

湖面や川面をかたわらに、約100kmのルートで、車ならちよっとの時間ですが、中海八景、宍道湖水辺八景など多くの景観スポットを擁しています。湖に面した喫茶やレストランも多く点在し、空と湖水、緑なす山脈などのロケーションを楽しめるルートです。

